

令和7年度 第4学年 授業改善推進プラン

台東区立谷中小学校

児童の実態を踏まえた課題	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
【国語】 ・漢字を文章の中で正しく使うこと。 ・文章を読み取り、目的に応じて筋道を立てた文章を書くこと。	・漢字を正しく使う力。 ・目的に沿った文章を書く力。	・授業の中での書く学習を通して、日常的に漢字を意識して使うよう声を掛ける。 ・書いた文章が、伝えたい相手や目的を意識した表現になっているか、児童同士で読み合っ てよい表現を見付ける活動を取り入れて、文章力を高める。
【社会】 ・資料やグラフ、表などの情報を読み取り、課題解決すること。 ・自分が分かったことを文章や図などで表現すること。	・資料を読み取って、課題解決する力。 ・調べたことから自分の考えをまとめて表現する力。	・教科書や資料集に提示されている表やグラフを読み取るポイントを全体で確認し、読み 取らせる。また、読み取ったことを発表やグループ活動を通して考える視点を広げる。 ・授業の最後に自分の言葉で振り返ったり、単元のまとめをパンフレットなどで表現したりす る学習を積み重ねる。
【算数】 ・四則計算など、基礎的な計算を正確に行うこと。 ・自分の考えを文章等にまとめ、記述すること。	・四則計算など、基礎的な計算を正しく行う力。 ・自分の考えを文章等にまとめ、記述し、説明する力。	・朝の学習や、指導計画に習熟の時間を設定し、基礎的な問題を反復練習させる。 ・自力解決の時間を確実に設定し、自分の考えを文章等で記述させるとともに、伝え合う活 動を取り入れる。記述が苦手な児童には、学力向上推進ティーチャーと複数体制で個別 の指導を行う。
【理科】 ・既習内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を立てること。 ・観察や実験などを行って課題解決をしながら、学習内容を理解すること。	・これまでの経験を基にして、根拠のある予想や仮説を立てる力。 ・観察や実験の結果を基に、自然の事物・現象を理解する力。	・予想や仮説を立てる学習活動では、これまでの経験や学習内容を基にして表現することが できる話型を提示する。 ・実験結果を考察する際には、グループ内での実験結果について、話し合う活動を取り入れ て、結果の妥当性を見付ける。